

シーニックバイウェイ北海道の概要

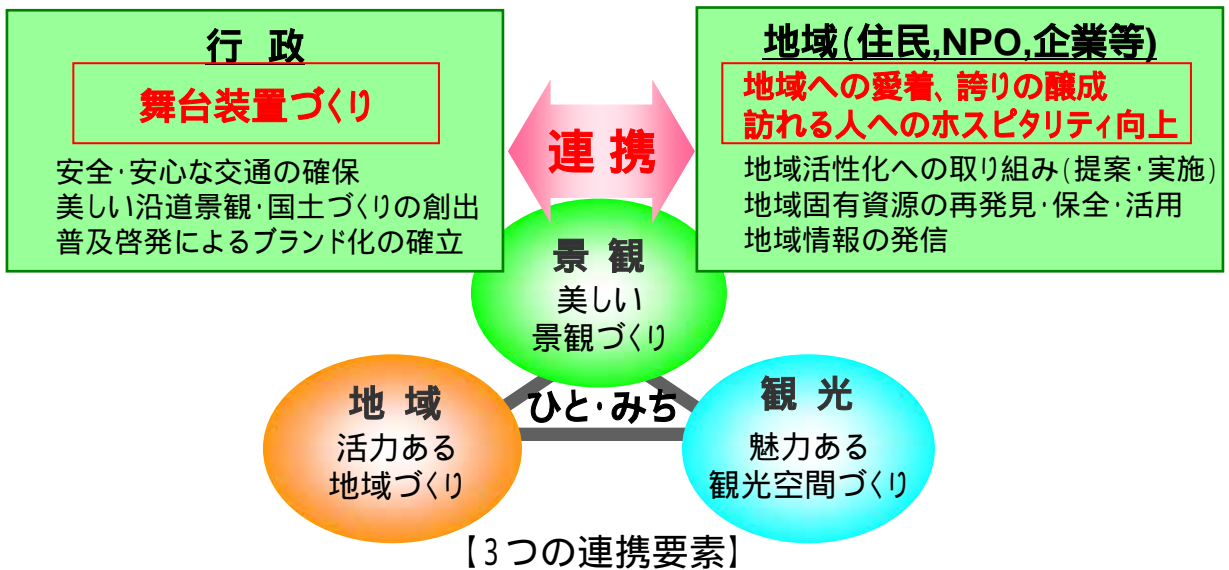
シーニックバイウェイ制度導入の目的

- ・美しいツーリング環境の創造
- ・個性的な地域環境の創造
- ・美しく誇りが持て活力ある地域の創造

シーニックバイウェイとは？
「シーニックバイウェイ制度」とは、そもそもアメリカで始まった道を通して地域資源の保全・整備を行い観光振興を目指すプログラムです。
「シーニック」とは英語のシーン(SCENE)の形容詞「SCENIC」、「バイウェイ」とは「BYWAY」、つまりわき道のことを指しています。アメリカでは1989年にシーニックバイウェイ法が制定され、現在96箇所が連邦政府からシーニックバイウェイとして指定を受けています。

制度の理念

「シーニックバイウェイ北海道」とは、地域住民等と行政が連携し、景観を始めとした地域資源の保全・改善による「美しい景観づくり」、「活力ある地域づくり」、「魅力ある観光空間づくり」を行う施策です。



検討経緯

- 平成14年度 「北海道におけるシーニックバイウェイ制度導入モデル検討委員会」の設置
- 平成15・16年度 2つのモデルルートを選定し、NPOなどの活動団体と連携しながら、取組を行う
- 平成17年度 本格運用予定

2つのモデルルートと活動団体(平成16年度)
「千歳～ニセコルート」……21団体
「旭川～占冠ルート」……17団体
計38団体



主な取り組み

美しい景観づくり

沿道の植栽、清掃活動、景観の通信簿作成、等

道路沿道景観診断の取組



花いっぱい運動



景観向上活動(看板の撤去)



活力ある地域づくり

シンポジウム、イベントの開催、等

勉強会の実施



シンポジウムの実施



イベントの開催



魅力ある観光空間づくり

観光メニューの創出、情報発信、等

体験型観光の実施



HPによる情報発信

